

赤井委員

今回、様々な私どもへの報告がございました。特に中小企業の活性化推進計画の改定ということで、その中にも各中小の商店等々の活性化という、こういう話もございました。

そういう話の中で、今回黒岩知事が打ち出しました例のソーラープロジェクト問題、これについて若干伺いたいと思いますが、かながわソーラープロジェクト研究会があります。ここで既に第 6 次まで様々な形で研究会を行ってきまされたけれども、この研究会での報告、提案等が最終的に本部長である知事のところに上がってくると思うんですが、この間、ワーキンググループとしてそれぞれ環境農政あるいは総務、県土整備、商工労働ということで、具体的にいろいろな細かい内容等について詰めてきていると思うんですが、この 6 次までの第 6 次研究会、これが具体的にワーキンググループとして、商工労働としてどういう内容について検討されてきたのか。

商工労働局企画調整課長

今、委員からお話がございましたソーラープロジェクト研究会は、推進体制ということで推進本部の下にワーキンググループが三つございまして、産業雇用創出ということで、私ども商工労働局が取りまとめをさせていただいているという状況でございます。

ただ、これはソーラープロジェクト研究会からの御報告、御提案等につきましては、私ども、このワーキングの方でその内容について精査をするとか議論をするというような仕組みになってございまして、私どもとしては、今後このプロジェクトの方がより具体的な取組の内容を明らかにしていく、それについてこのワーキングの中でも私どもとして、中小企業の振興、こういう視点でどういようなことが盛り込んでいけるのかといういようなことを検討したいというふうに考えている状況でございます。

赤井委員

内容の精査、議論の仕組みになっていないというふうなお話でしたけれども、ソーラープロジェクト研究会の方々、どちらかというといと学者さんとか、こういういような方々が多いので、現場の意見というのはなかなか入っていないのではないかなと。

商工労働というの、当然のことながらももちろん神奈川県全体が元気になってもらいたいということと同時に、商工労働というぐらいますから、先ほどの話がありましたように、中小の企業、商業の方々も元気になってもらわなければいけないという意味では、そういう方向をやはり打ち出してあげなければいけないのではないかなと思うんですよ。県全体も元気にさせると同時に、中小の企業さんにも元気になってもらわなければいけないという、そういう仕組みをつくっていかなければいけないと思うので、その辺について、この推進本部の方に提言をする、そのときに研究会の中で出ている意見について、これについてはこういういような考えも入れてもらいたいという、こういうことは進言というか提言というかできるんですか。

商工労働局企画調整課長

正に今おっしゃっていただいたように、今回のこの取組がその中小事業者さんにとって潤いをもたらすようなものとなる、これが私ども一番のことだというふうに考えてございます。

今回、工程表等も示され、また具体的に様々な施策が環境農政局の方からも出てきてございます。私どもとしては、そういったようなもの、当然その学者の方々が提案されているもの、あるいは事業者の方、いろいろなものがございしますが、これからはその内容について、このワーキングでその中小事業者の方を盛り立てていくような、どのようなものが盛り込んでいけるのか、正にこの今のタイミングでこのプロジェクトについて環境農政局が取りまとめると思いますので、そのことに対して商工労働局の視点できちんとしたことを主張していく、提案していく、こういったことが大事な時期に来ているであろうし、またそういったことをしていかなければいけないというふうに考えてございます。

赤井委員

例えば今、提案していかなければいけないというようなこういう過程の中にあって、9月26日更新で、神奈川県ホームページに、あなたの街の太陽光発電システム販売店情報ということで、神奈川県内のこの太陽光発電のシステムの販売店の一覧表というのが8ページにわたって出ております。これは、あえてここに書いてあるんですが、掲載した販売店情報は、太陽光発電システムのメーカーから提供いただいた情報を取りまとめたもの、販売店情報は参考であり、神奈川県が特定の販売店を推薦しているわけではありません、こういうふううたってあります。

しかし、ここに出ている電気屋さん等々、また販売店等々なんですけれども、例えば私は平塚に住んでいるから平塚だけちょっと見てみますと、平塚で15店出ています。この15店のうち、コジマとかケーズデンキとかヤマダ電機とかという、こういう店が5店出ています。それ以外ですと10店舗なんです。この10店舗が電気屋さんであり工事屋さんでありだと思っただけなんですけれども、例えば、平塚でソーラー発電をうちはやりたいなと思ったときに、神奈川県ホームページを見ると、この10店舗しか出ていない。これ以外でも幾らでも電気屋さんとか工事さんでやってくれるところというのはあるわけですよ。あえてここで神奈川県が特定の販売店を推薦しているわけではないというふうにはうたっているんですけれども、しかしこれでは非常に片手間ではないかなというふうに思うんです。

もしこういうことを載せるのであれば、例えば平塚なら平塚の商工会議所あたりにきちっと問い合わせてくださいとか、あるいは神奈川県では電業協会、電機商業組合があるわけですから、こういうようなところも載せてあげて、やはり本当に公平に見てあげなければならないと思います。地元の業者さん、電気屋さんにとっては、この太陽光発電については、黒岩知事の発言はトーンダウンしてしまいましたけれども、しかしそれにしてもこれから非常に大事なポイントだと思います。是非こういう点についてはしっかりと捉えてもらいたいと思うんですが、その辺、どうでしょうか。

商工労働局企画調整課長

今お話を伺いましたように、私どもとしても、全庁を挙げてこれからこの太陽光発電を中心にした再生可能エネルギーの普及に取り組んでいく。中でも、太陽光発電については知事が先頭に立ってこれから普及促進を急速に広めていくんだというふうな考え方でやってございます。そうした中で、この太陽光発電の実際にその取付けをしたり設置をしたりといったような事業者さん、中小企業事業者さんがそれに携わるといふこと、こういったようなことで潤いが出てくるということは非常に大事なことだと思っております。

ただ、今、委員からお話がありましたように、皆様方はやはり仕事を得ることに対し、非常に切迫した思いを持っていらっしゃると思います。そうした意味で、繰り返しになりますが、私どもとしても、今このタイミングで環境農政局を中心に新たな普及のためのいろいろな仕組みがスタートすると思っておりますので、この段階で中小企業の方々がそこに参入できるような、そういったような形の提言を是非やっていきたいというふうに考えてございます。

赤井委員

最後に、このソーラープロジェクト推進本部の構成員として商工労働局長が入っています。今、私がお話ししましたように、この本部に対しての提案は可能だという話を伺いました。具体的にもう既に販売店の名前なんかホームページに出てきてしまう。現場の商店街あるいは商店、それから電気工事屋さん等々が、本当に今話がありましたように、もう1日も待ってられない、どうやって名前を自分は載せたらいいのかと、こういう気持ちがあるわけです。これから今環境農政が中心になってまとめていると思っておりますけれども、ソーラープロジェクト推進本部の構成員の局長としての、中小企業、神奈川県の中小的商店街、それから電気工事屋さん等に対しての考え方、是非その辺について、決意をお聞かせください。

商工労働局長

もう何度も繰り返すまでもなく、私どもは中小企業振興、これが第一の柱でございます。これとソーラープロジェクトに関するいろいろな中小企業の波及についても、その基本的なスタンスは変えているわけではございませんので、まずワーキングでしっかり中小企業のためにはどういうことができるのかを固めまして、推進本部においての発言を私からもさせていただいて、本部の報告なりをまとめたときに反映していただくように努めてまいります。

赤井委員

しっかりと頑張っていたきたいということをお願いして、私の質問を終わります。